

報道関係各位

2022年6月29日  
大王製紙株式会社

— チャレンジし続ける世界中の女の子を応援 —  
「ハートサポート 2022」プロジェクト  
Twitter&オリジナル支援販売機を通じて  
合計 5,142 枚分の布ナプキン作製支援が決定！  
昨年からスケールアップし、ザンビアでの支援を拡大

「エリエール」ブランドの生理用品「エリス」を展開する大王製紙株式会社（本社：東京都千代田区）は、世界中の女の子の自立を実現するための支援活動「ハートサポート 2022」を 2022 年 2 月 1 日（火）から実施しています。多くの方からの賛同を得て、ザンビアでの 5,142 枚分の布ナプキン作製支援が決定しましたので、お知らせいたします。

Twitter でハッシュタグ「#エリスハートサポート」をつけてザンビアの女の子へのメッセージを投稿すると、1 件の投稿につき布ナプキン 1 枚分の作製支援費がザンビアに届く SNS による支援では、2 月 1 日（火）～4 月 30 日（土）の 3 か月間で上限 5,000 枚を超える 5,112 件のツイートが寄せられました。

また、本プロジェクトの新たな取り組みとして、3 月には渋谷区立宮下公園に期間限定のオリジナル支援販売機を出展。自動販売機で「支援」を 500～2,000 円でご購入いただくと、金額に応じた枚数分の布ナプキンの材料費(1 枚 500 円)をザンビアへ届ける取り組みで、期間中 14 日間で 71,000 円（布ナプキン 142 枚分）の寄附が寄せられました。温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

THANK YOU FOR YOUR SUPPORT! 

ハートサポート2022 キャンペーン結果



ツイート数

5,112 件

(2月1日～4月30日)



自販機寄附金額

71,000 円

(布ナプキン142枚分)



ザンビアでの支援活動は、昨年に引き続き特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構と協働で実施しており、昨年の 3,000 枚からさらにスケールアップした 5,142 枚分の布ナプキン作製費をザンビアに届け、現地で布ナプキンの作製支援を継続します。また、昨年 9 月には、ザンビアでの支援の拠点となるコミュニティスペースが正式にオープンしており、この運営も継続することで活動の輪が広がっています。

多くの皆さまからのご賛同に感謝するとともに、当社はこれからも世界中の人々の豊かな暮らしを実現するため、「ハートサポートプロジェクト」を通じて世界中の女の子を取り巻く環境について考え、行動するきっかけづくりを提供してまいります。

## ■「ハートサポートプロジェクト」について

2018年、「エリス コンパクトガード」の発売をきっかけに、世界の女の子たちのおかれた環境について考えるきっかけづくりをしたいという思いから始まったプロジェクトです。4度目の実施となった「ハートサポート 2022」では、“生理が、あきらめる理由にならない世界へ。”をコンセプトに布ナプキン作製支援やコミュニティスペース運営などの支援プログラムを展開しており、昨年に引き続き、ザンビアの女の子の自立につながるサポートを継続しています。

## ■ハートサポート 2022 活動内容

### ①布ナプキン作製支援

布ナプキンの作製・配布・販売まで現地の女の子たちが自ら行うことで、貧しい家庭の女の子たちも繰り返し生理用品を利用できる環境をつくとともに、収入を得る機会を生み出していきます。昨年の3,000枚から今年度はさらに5,142枚を追加することで、支援を拡大します。



ザンビアでの布ナプキン作製の様子  
(現地の事務局にて撮影)

<結果>

### ▼SNSを通じた布ナプキン作製支援

Twitterでハッシュタグ「#エリスハートサポート」をつけて【ザンビアへのエール】を投稿すると、1件の投稿につき布ナプキン1枚の作製費が支援される取り組みです。

【展開期間】2022年2月1日（火）～4月30日（土）

【結果】上限5,000件に対して、5,112件のツイートを達成。5,000枚分の布ナプキン作製費を寄附

### ▼オリジナル支援販売機

渋谷区立宮下公園に設置されたオリジナル支援販売機で、「支援」を500円～2,000円でご購入いただくと、金額に応じた枚数分の布ナプキンの材料費(1枚500円)をザンビアへ届ける取り組みです。

【展開期間】2022年3月5日（土）～3月18日（金）

【結果】71,000円（布ナプキン142枚分）を寄附



オリジナル支援販売機

### ②コミュニティスペースの運営

ザンビアにおける布ナプキンの作製・配布・販売の場として活用される一方で、健康相談や衛生知識を提供する場を運営。オープン以降、多くの子どもたちがコミュニティスペースを訪れています。取り組みのひとつであるカウンセリングでは、子どもたちが生理をはじめとして性や衛生に関する相談をしています。最近では男の子の参加者も増えており、生理を取り巻く環境についての理解が深まっています。



コミュニティスペースの様子  
(現地の事務局にて撮影)

<参考>

## 「ハートサポート」プロジェクト／『エリス』について

### ■これまでの「ハートサポート」活動内容について

- ・2018年度は SNS で対象の投稿に「いいね」をすると 1 枚の生理用ナプキンが支援先のアフリカ・ケニアの女の子に届く仕組みで、上限の 200 万「いいね」が集まりました。
  - ・2019年度は SNS で「誰かを想って撮影したハートの画像」を募ったところ、28 日間(キャンペーン期間は 2 ヶ月)で上限の 5,000 件に到達し、現地の女の子の自立をサポートする 7 つの支援を実施しました。
  - ・2021 年度からはザンビアに支援先を変更し、SNS での 1 メッセージにつき布ナプキン 1 枚の作製費が支援される継続的なサポート内容を展開しています。作製支援を行った 3,000 枚のうち、現在約 2,600 枚の布ナプキンが現地で作製されており、そのうち 2,000 枚は無償配布を予定しています。現時点で約 800 枚分の布ナプキンの無償配布が進んでいます。
  - ・2022 年度は、SNS を通じた参加型のプロジェクトに加え、イベント出展によるリアルな接点を展開しました。
- ※「ハートサポート」公式 HP にてこれまでの活動レポートを報告しています。<https://www.elleair.jp/hs/>

### ■SDGs 達成への貢献について

当社では「ハートサポート」プロジェクトを通じて、SDGs の目標「3.すべての人に健康と福祉を」「4.質の高い教育をみんなに」の達成に貢献することを目指します。今後も商品やサービスを通じて、人々の暮らしのそばにそっと寄り添い、世界中の人々へやさしい未来をつむいでまいります。

### ■ひとりひとりに寄り添うブランド「エリス」



エリスは、2022 年 4 月にブランドメッセージを「だれかではなく、あなたのそばに。」とし、ひとりひとりに寄り添うブランドに刷新しました。多くの方により自分らしい毎日を過ごしていただきたいという願いのもと、これまでの当たり前にはばられない発想で、ひとりひとりの生理に寄り添います。あなたがあなたらしくいられるように。私たちエリスはほかのだれかではない、あなたのそばにいます。

### ■特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構(AMDA-MINDS、アムダマインズ) ※本活動における協働団体

世界の元気を育てたい。



人づくり村づくりを通じ、世界の貧困地域において暮らしの改善に取り組む団体。岡山市北区に本部を置く。現在、アジア・アフリカ・中南米で、約 100 名のスタッフが、保健、水と衛生、生計向上、農業、青少年育成などの社会開発活動を展開している他、日本国内では国際理解教育や企業連携を通じた社会教育を推進。AMDA グループの構成団体の 1 つ。2007 年設立。理事長鈴木俊介。